

『ゴジラ-1.0』北米全土にて再上映決定のお知らせ

東宝株式会社（本社:東京都千代田区、代表取締役社長：松岡宏泰）が製作いたしました『ゴジラ-1.0』が、2024 年 11 月 1 日より北米において 800 スクリーン以上にて再上映をすることが決定いたしました。

本作は昨年 12 月より当社初となる北米自社配給を行い、日本映画として全米興行収入史上最高を記録、外国語映画としては全米興行収入史上第 3 位となりました。なお、本年 3 月には第 96 回アカデミー賞®にて、視覚効果賞を受賞しております。

アカデミー賞®を受賞した本年 3 月にはすでに北米における劇場公開は終了しており、この度 11 月 3 日にゴジラが 70 周年を迎えることを記念して、再上映する運びとなりました。

また、今回の北米全土における再上映のほか、イギリス、アイルランド、フランス、ドイツ、オーストラリア、中南米他でも 10 月 31 日以降順次再上映を予定しております。

さらに、70 周年を記念し、米国ロサンゼルスのアカデミーミュージアムにてゴジラ映画 5 本（「ゴジラ」（1954）、「怪獣総進撃」（1968）、「ゴジラ対ヘドラ」（1971）、「シン・ゴジラ」4K 版（2016）、「ゴジラ-1.0」（2023））をマラソン上映する「Godzilla-Thon!」の開催も決定いたしました。

当社グループは「TOHO VISION 2032 東宝グループ 経営戦略」において、成長戦略のキーワードとして「海外」を掲げております。

今後も「Entertainment for YOU 世界中のお客様に 感動を」をスローガンとし、世界規模のエンタテインメント企業として世界中のお客様に作品を届けられるよう取り組んでまいります。

日本のみならず世界中のお客様にゴジラをお届けしてまいります。ご期待ください。

以上

本件に関するお問い合わせ先
東宝株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報室 IR 室
pr_ir@toho.co.jp